

気軽に楽しむガーデニング おいしく育てるプランター菜園 開催レポート

令和6年6月27日（ギャラクシティ）

講義

ベランダなどのプランターでも気軽に育てられる野菜やハーブの育て方、相性のいい植物の組み合わせなどを実際に体験しながら学びました。

徳原先生の実演を交えたユーモアあふれる解説で、参加者体験型の活気ある講座となりました。

<植物の生育条件>

温度

日照

風通し

水

土壌

植物の生育には、上記の条件が適切に整っていることが必要です。

土壌を例に挙げると、団粒構造が形成されていることが大切です。

団粒構造とは、土の粒子がいくつも集まって塊を作り、その塊と塊の間がある程度の空間がある状態のことです。団粒構造の土は、水はけや水持ちが良く、空気の通りも良好で、肥料分も保持しやすいので、植物を育てるのに適しています。

<講義の様子>



野菜を植えるプランターは、草花を植える時よりも深いものがおすすです。



土壌をつくる際の、赤土、牛ふん、腐葉土の配分や植え方等を、実演形式で教えて下さりました。



様々な草花や野菜の良い苗の見分け方等を、実際に触れながら学びました。

参加者の声



良い苗の見分け方、種まきの仕方が具体的にわかり、良かったです。（初参加・60代）



実際に土に触れたり、作業を見れたり、とてもわかりやすかったです。（2回目・60代）



講演全てが勉強になりました。ありがとうございます。（初参加・70代）



講師 徳原 真人 先生（ガーデンデザイナー）

「グリーン博'99」において、ガーデニング・ジャパンカップでグランプリを受賞したほか、数々のイベントで受賞、植栽設計・監修を務める。現在では全国的に講習、講演活動を行っており、足立区では、平成26年から「暮らしの園芸講座（現みどりの学び場）」等で講師を務めている。